

都道府県・市町村教育委員会で外国人児童生徒等の教育を担当する皆様

大学関係者の皆様

自治体で多文化共生に取り組む皆様

派遣費用は
文科省が負担
します!

文部科学省 日本語指導アドバイザー

増加する外国人児童生徒等に対する日本語指導や学習支援について、教育委員会へのアドバイスや教員研修の充実のため、
「日本語指導アドバイザー」の派遣を行います。

このようなご希望やお悩み…

教育委員会で…

- ◆外国人児童生徒等の教育について研修をやりたい！
そのために、経験豊富な講師を招きたい。

教育委員会で…

- ◆外国人散在地域のため、対応が遅れている。外国人児童生徒等の対応施策について、専門的な見地からアドバイスが欲しい。

大学で…

- ◆教員志望の学生に、日本語指導について学ばせたい。
どんなカリキュラムがいいのか…。

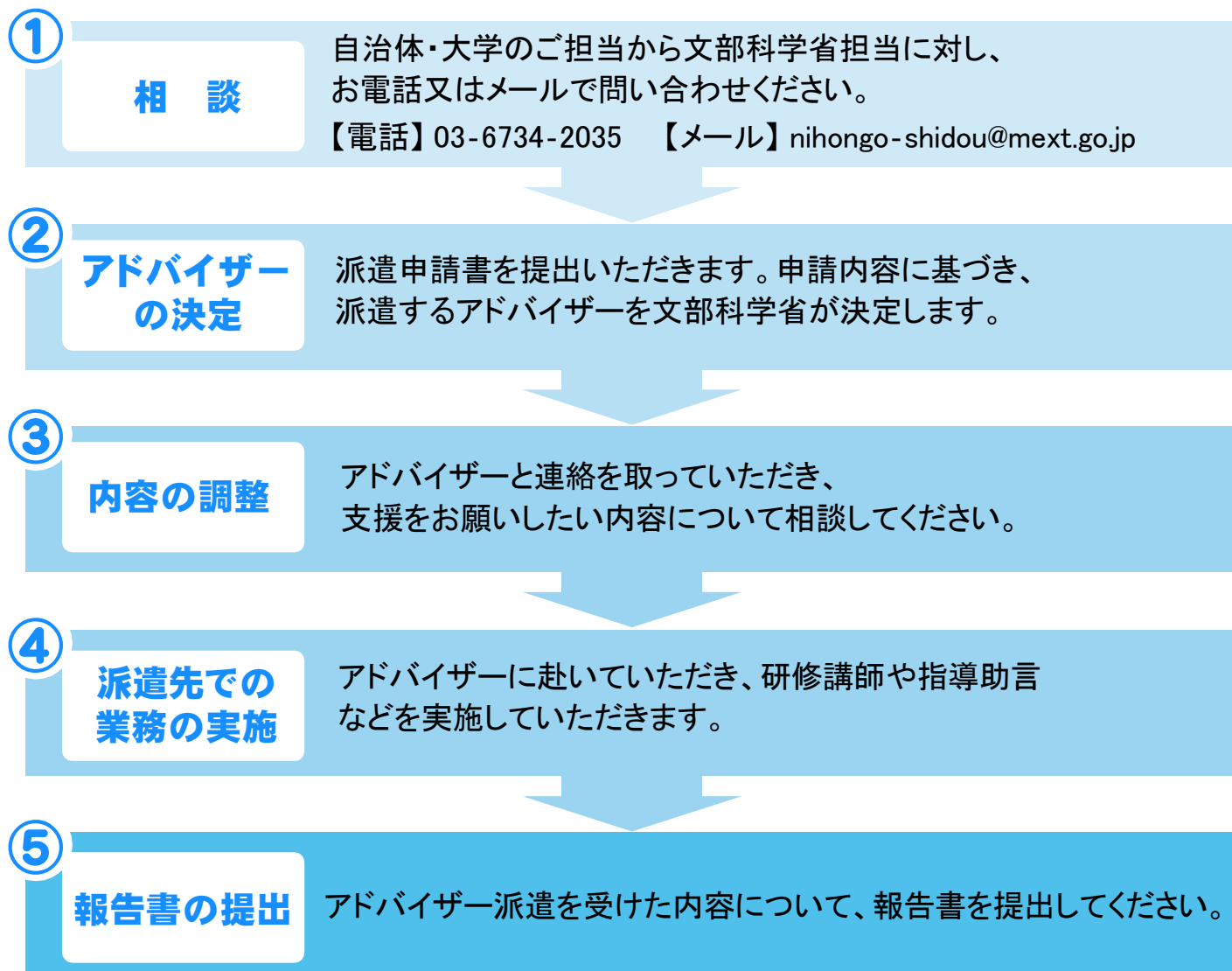
地域で…

- ◆子どものいる外国人家庭がとても多い。
NPOと連携して、支援の取組ができないか…。

**日本語指導アドバイザーが
お手伝いします！**



◎日本語指導アドバイザー派遣の流れ



文部科学省日本語指導アドバイザーのメリット

- ✓ 外国人児童生徒等の教育や支援を長年実践されている方、**専門家を派遣**します。
- ✓ 地域の実情を踏まえた日本語指導や支援の実施について、**丁寧にアドバイス**します。
- ✓ 派遣に要する費用は**無料**です。

詳細については、文部科学省HPをご覧ください。

【URL】 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/003/1418999.htm

日本語指導アドバイザーの派遣

検索



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

◎日本語指導アドバイザーの紹介

▶ 今澤 悌 甲府市立大國小学校教諭

教職に就いて以来、長く外国人の子どもたちに関わり、日本語指導を実践。文部科学省「JSLカリキュラム」の開発に携わるとともに、(独)教員研修センター(現在は教職員支援機構)が実施する日本語指導指導者養成研修や、東京学芸大学JSL研修などの講師を務める。学校現場での豊富な経験を活かし、日本語指導の各段階の指導案の作成、授業の実際、教材、支援、評価等についてアドバイスします。その他、校内体制作りや適応のための支援、保護者対応や中学・高校への進路・進学指導などについても、ご相談ください。

▶ 海老原周子 一般社団法人kuriya代表理事

海外での生活を経験した後、(独)国際交流基金や国連(IOM国際移住機関)に勤務。2016年に一般社団法人kuriyaを設立。外国籍等の高校生のキャリア育成に着手し、定時制高校での部活動を通じた居場所づくりを行い、中退防止やキャリア支援に取り組んでいます。また、多文化理解教育のための取組や、国への政策提言についても実施しており、多文化の居場所づくりやキャリア教育、企業や大学、NPO等との地域連携についてアドバイスします。

▶ 大菅佐妃子 京都市教育委員会指導部学校指導課 副主任指導主事

教職に就いて以来、日本語指導担当教員、京都市総合教育センター研究員、指導主事とそれぞれの立場で、日本語指導が必要な子どもの教育に携る。これまでの経験を活かし、授業作りや支援方法、学校の体制作り、教員研修の企画運営についてアドバイスします。特に現職では、「拠点校からの巡回指導」が可能な体制を構築するなど、市教育委員会としての新しい施策に取り組んでいます。

▶ 小島 祥美 愛知淑徳大学准教授

小学校教員、NGO職員を経て、一自治体の全外国籍の子どもの就学実態を日本で初めて明らかにした研究成果により、岐阜県可児市教育委員会の初代外国人児童生徒コーディネーターに抜擢され、同市で「不就学ゼロ」を実現した。大学生のボランティア活動推進と地域連携を専門としたコミュニティ・コラボレーションセンター開設に伴い、愛知淑徳大学に着任。これまで様々な自治体で実践や支援を行った経験から、初期日本語指導教室立ち上げや授業づくり、アイデンティティや進路進学、地域連携の在り方等のアドバイスができます。

▶ 近田由紀子 目白大学専任講師

浜松市の小学校教員として、長く、国際理解教育、帰国子女教育、外国人児童教育に携わる。この間、香港日本人学校への赴任や、文部科学省「JSLカリキュラム」開発等にも携わる。2016年12月からは、文部科学省外国人児童生徒等教育支援プロジェクトオフィサーとして「外国人児童生徒受入れの手引」改訂や各施策の立案・実施に携わり、2019年4月から現職。取り出し指導や在籍学級での指導、校内外の連携・協働に活かせるノウハウなど、実践に役立つアドバイスを行います。

◎日本語指導アドバイザーの紹介

▶ 齋藤ひろみ 東京学芸大学教職大学院教育実践創生講座 教授

小・中学校の教諭、中国帰国者定着促進センター日本語講師を経て東京学芸大学に着任。小中学生対象の日本語教育、内容（教科）と日本語の統合学習、「多文化教員」の養成・研修に取り組む。文部科学省における「JSLカリキュラム」「DLA」の開発、「外国人児童生徒受入れの手引」の執筆協力・改訂に携わり、各種日本語プログラムの提案を行う。文部科学省委託事業「外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム開発事業」に関わり、各地で教員研修のコーディネーター・講師を務める。また、学校・地域の実践を交流する場を積極的に提供しており、子どもの見取り・初期日本語指導・教科と日本語との統合学習、教師としての力量形成についてアドバイスします。

▶ 佐藤 郡衛 明治大学国際日本学部特任教授

東京学芸大学教授、同大理事・副学長、目白大学学長等を経て、2018年4月から現職。文部科学省が外国人児童生徒の教育の充実のために実施した検討会等の座長や文化庁文化審議会国語分科会日本語小委員会委員等を歴任。1990年ごろから外国人児童生徒の実態把握や教育に関する研究に着手し、現在まで、異文化間教育や多文化共生教育に関する研究、教員養成に携わっている。「JSLカリキュラム」開発、「特別の教育課程」の制度化、「外国人児童生徒受入れの手引」作成等、文部科学省の様々な施策に関わった経験を活かし、外国人児童生徒教育に関する、自治体の施策立案や実施についてアドバイスします。

▶ 築樋 博子 豊橋市教育委員会 外国人児童生徒教育相談員

1999年から現職に就き、外国人児童生徒教育に関わる資料・教材の作成や支援体制作りに携わる。愛知県や自治体国際化協会等の多文化共生に関する各種会議委員を歴任するとともに、文部科学省における「DLA」の開発や外国人児童生徒の教育の充実のために実施した検討会等にも委員として参加。2018年からは、豊橋市の初期支援校「みらい」のコーディネーターを務めており、「特別の教育課程」による日本語指導のための体制作りや「個別の指導計画」の作成、日本語初期の集中指導教室の仕組み作りや指導についてお手伝いすることができます。

▶ 浜田 麻里 京都教育大学教授

大阪大学助手、国際交流基金日本語国際センター日本語教育専門員、大阪大学留学生センター助教授を経て現職。京都府、京都市等の多文化施策審議会等の委員を務めるとともに、文部科学省「外国人児童生徒の教育の充実に関する有識者会議」委員、文化審議会国語分科会臨時委員等を歴任。大学においては、教員を目指す学生に外国人児童生徒への理解と指導力を養うための授業を担当。また、学生や地域の方々とともに外国人の子ども達の学習支援・居場所づくりの活動にも加わっている。2017年度からは、文部科学省委託事業「外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム開発事業」に携わっており、自治体における教員研修、大学における教員養成に関して、研究成果を踏まえたアドバイスを行います。